

1. 研究課題名：

日本およびアジアの鉄鋼産業の中長期的な  
低炭素化実現に向けた研究



2. 研究代表者氏名及び所属：

倉持 壮（公益財団法人地球環境戦略研究機関）

3. 研究実施期間：平成 25～27 年度

4. 研究の趣旨・概要

我が国の鉄鋼部門は世界最高レベルのエネルギー効率を誇る一方、製鉄プロセスの性質上、依然として CO<sub>2</sub> 多排出である。今後の原子力推進が不透明な中、より一層の温暖化対策を進めるには鉄鋼部門からも更なる CO<sub>2</sub> 排出削減が求められる可能性がある。

本研究ではボトムアップ計算モデルによる定量分析および海外における政策事例の分析を行い、世界の鉄鋼業の今後の動向の不確実性を十分に踏まえ、日本およびアジアの鉄鋼部門における中長期将来（2030 年以降）における省エネ・CO<sub>2</sub> 排出削減の実現に向けた政策提言を行う。

本研究は、政策担当者を含む幅広いステークホルダーが議論するための共通のナレッジ・プラットフォームを構築する。

5. 研究項目及び実施体制

①日本およびアジアの鉄鋼産業の中長期的な低炭素化実現に向けた研究

（公益財団法人地球環境戦略研究機関）

## 6. 研究のイメージ

環境研究総合推進費 課題1RF-1301

### 「日本およびアジアの鉄鋼産業の中長期的な低炭素化実現に向けた研究」

代表 (公財)地球環境戦略研究機関

本研究ではボトムアップ計算モデルによる定量分析および海外における政策事例の分析を行い、世界の鉄鋼業の今後の動向を十分に踏まえ、日本およびアジアの鉄鋼部門における中長期将来(2030年以降)における省エネ・CO<sub>2</sub>排出削減の実現に向けた政策提言(低炭素製鉄技術や鉄リサイクル関連技術による途上国支援やアジア諸国への海外展開を含む)を行う。

